

T o s h i m a F u k u s h i



豊島福祉

今月の内容

- 令和4年度重点取組事業報告
- 令和4年度決算概要
- 社会福祉協議会創立70周年
- 終活情報登録のご案内
- 地域の活動紹介
- 区民ミーティング開催報告
- ご寄附をありがとうございます
- ふくじいふくみん ほのぼの日記

2023
No.276 秋号

「ツインツリーの紅葉（新宿御苑）」 写真…千葉 光雄



2023 autumn No.276

令和4年度 重点取組事業報告

豊島区民社会福祉協議会が令和4年度に重点取組事業として掲げた5つの事業の取り組みについてご報告します。

1. 成年後見制度利用促進に関する取り組み（中核機関の受託）

「サポートとしま」では、成年後見制度推進機関（中核機関）の運営を区から受託し、これまで培ってきた専門性や権利擁護のネットワーク、地域とのつながりを十分活用しながら、権利擁護支援を行いました。

また、豊島区としては3回目となる「豊島区社会貢献型後見人（区民後見人）養成講習」を開催し、新たな担い手の養成と同時に、区民の方への制度周知を図りました。



豊島区社会貢献型後見人養成講習

2. 発展的な終活サポート事業

これまでの終活に関する総合相談業務に加え、死亡時や病気や事故で意思表示できなくなった時に備えて緊急連絡先や生前契約、終活に関連する情報を登録する「終活情報登録事業」を区から受託し、新たに開始しました。

また、豊島区オリジナルのエンディングノート「豊島区終活あんしんノート」を増刷し、昨年度以上に書き方講座や老いじたく講座の開催回数を増やして作成の意義を周知し、より一層活用されるよう取り組みました。

3. CSWの新たな地域課題への取り組み

コロナ禍において顕在化した若年層や外国人の生活困窮や社会的孤立、住民同士のつながりの希薄化等による孤独・孤立の問題に対して、関係機関や団体と連携しながら、積極的なアウトリーチによる相談支援や、地域活動支援に取り組みました。

地域住民や団体が顔を合わせて地域課題について話し合う場である「ぶらっと」を8圏域で複数回実施することにより、新たな活動がうまれるきっかけとなっています。



「ぶらっと」での意見交換

4. 大災害からみえた課題への取り組み

大災害時には、豊島区や東京都社協等と連携して「災害ボランティアセンター」を開設することになっており、区と開設場所の検討に入りました。また、地域ごとに災害時に向けて、日頃からの近隣同士の声かけなどによる見守りがとても重要になるため、町会等と連携をし、意見交換を行ったり、地域の中での見守りのマニュアル作成に取り組みました。

5. 財政収支の改善

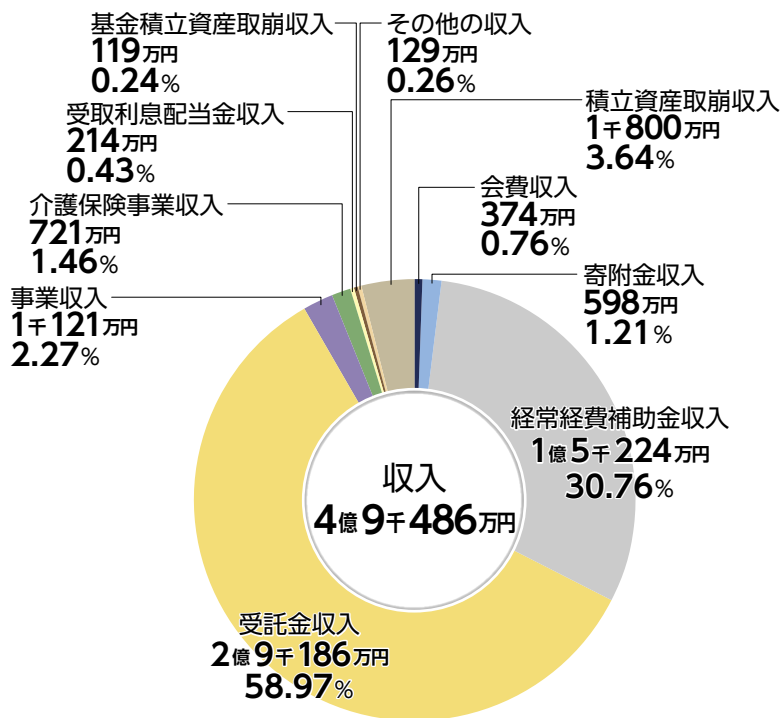
豊島区民社協が税額控除対象法人であることや、これまで社協を知らなかった区民や企業に取り組みを知ってもらうために、広報誌の全戸配布やSNSの活用、新たにYouTubeチャンネルを開設するなど積極的なPR活動に努めることにより、新規会員の加入や寄附の受付などにつながりました。

令和4年度 決算概要

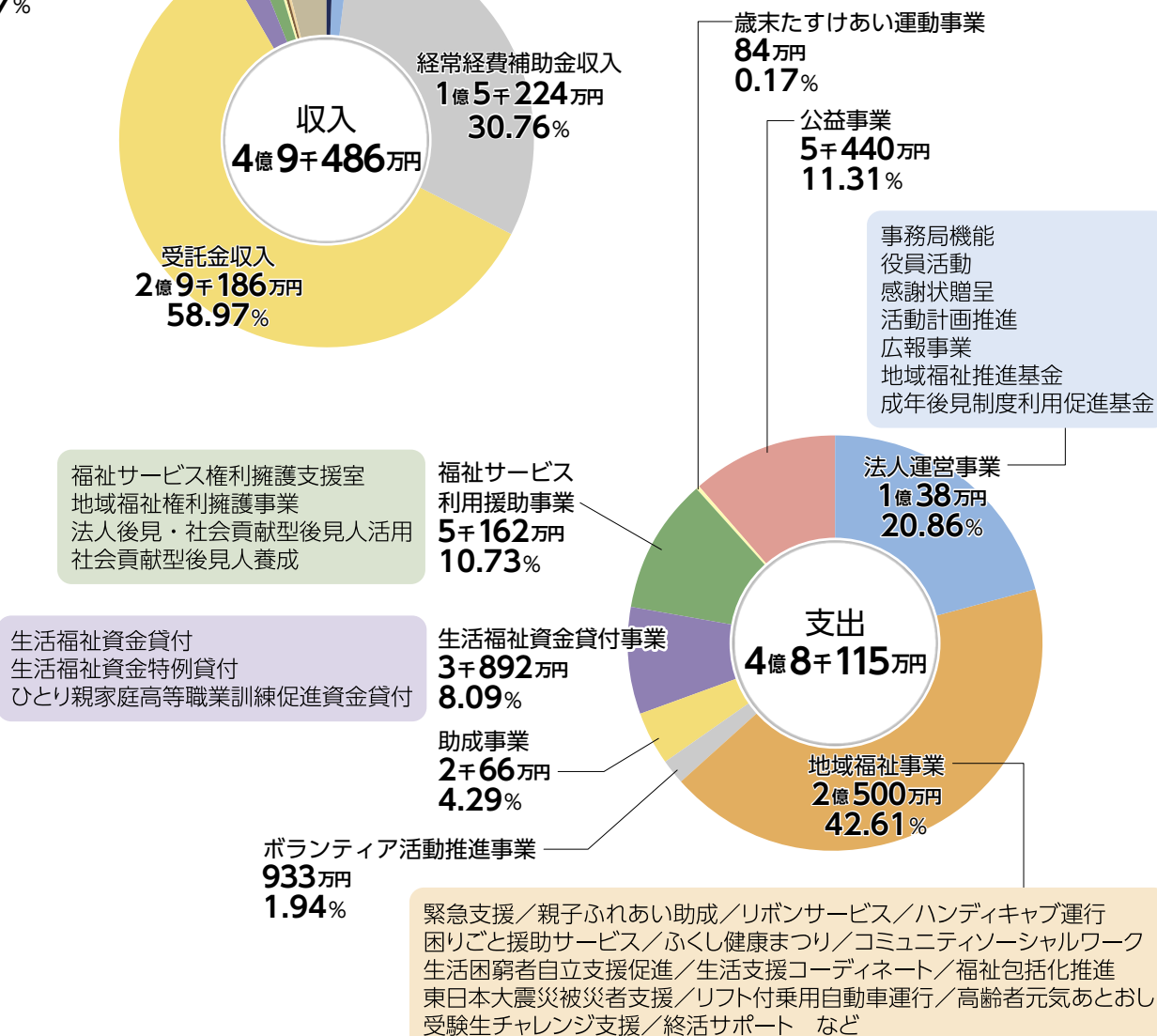
(単位：円)

	令和4年度決算額	令和3年度決算額	増 減
前年度繰越金	142,923,707	50,702,282	92,221,425
収 入 総 額	494,859,224	575,746,086	△ 80,886,862
支 出 総 額	481,151,166	483,524,661	△ 2,373,495
支払資金残高	156,631,765	142,923,707	13,708,058

収入内訳（科目別）



支出内訳（事業区分別）



豊島区民社会福祉協議会

創立70周年



豊島区民社会福祉協議会は、昭和28年8月28日に設立し、本年創立70周年を迎えました。70年の長きに渡り活動を続けてこられたのは、社会福祉協議会会員や町会・自治会、民生委員・児童委員等、関係諸団体の皆様によるご支援の賜物と、心より感謝しております。

昭和28年の設立当初は、戦災孤児の救援、貧困・衛生対策等、ひっ迫する地域課題への支援活動を、区民の方々とともに行ってきました。その後も、一貫して「住民主体による地域福祉の推進」を基本理念として、世代や障がいの有無等に関わらず、誰一人取り残さない、誰もが主役になれる「地域共生社会」の実現に向けて、様々な福祉事業を展開してきました。

これからも地域の皆様とともに、より強く、心豊かなつながりのある地域社会づくりに向けて取り組んでまいりますので、変わらぬご厚情を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

また、70周年を記念して式典を執り行います。詳細につきましては、追ってお知らせいたします。



昭和28年 設立総会



昭和41年 学用品プレゼント運動



平成3年 リボンサービス開始
協力会員による送迎



令和3年
フードバンクあったか豊島開始

70周年記念式典

日時 令和5年12月6日(水)午後

会場 帝京平成大学

冲永記念ホール

(東池袋2-51-4)

プログラム(予定)

感謝状贈呈、災害時相互応援

協定締結、アトラクション 等



写真は60周年記念式典(平成25年)

豊島区終活あんしんセンターより

「もしもの時」のために、終活に関わる情報を登録しませんか？

終活情報登録のご案内

豊島区では、終活に関する総合窓口として、終活あんしんセンターを開設しています。

「終活」は、身の回りの整理や遺言・相続、葬儀のことなど、いずれやってくる「その時」に備える準備活動です。「終活」を通じて不安を解消することは、充実した「今」の生活を送ることにもつながるため、早めの準備をおすすめしています。まず、終活情報を登録することから「終活」を始めてみませんか。

終活の第一歩！

「終活情報」を登録する！！

病気や事故等で意思表示ができなくなった時やお亡くなりになった場合に備え、緊急連絡先や遺言書の置き場所等、終活に関する情報を登録しておき、あらかじめ指定した相手（親族や友人、警察、消防、医療機関等）からの照会に対して、情報を伝えることができます。登録する内容や情報の開示先は、自身で選ぶことができ、一つだけでも可能です。



例えば、こんなときに役立ちます

- 外出先で倒れて救急搬送された時、そのことが親族に伝わるようにしたい。
- 遺言書を作ったことは息子に伝えてあるが、亡くなるまで置き場所は伏せておきたい。

対象者 区内在住のおおむね65歳以上の方、その他必要と認める方。

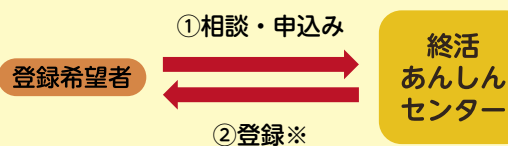
登録方法 申請書に必要事項を記入の上、当センター窓口へ提出（身分証の提示が必要）。登録は無料。

登録できる内容 ※次の9項目から選ぶことができます。

- ① 緊急連絡先、② 本籍、③ 通院先・アレルギー等の情報、④ リビングウィルの保管場所、⑤ エンディングノートの保管場所、⑥ 臓器提供の意思、⑦ 献体の登録先、⑧ 死後事務委任契約や終活に係る生前契約の情報、⑨ 遺言書の保管場所

指定できる情報の開示先 親族・友人等、警察署、消防署、医療機関、福祉事務所

登録の流れ



※カード、マグネット、登録証を登録時にお渡しします。

開示の流れ



多くの方が参加した登録説明会（7月）

★次回説明会は冬頃の予定です。（社協HP、区報をご参照）

豊島区終活あんしんセンター

受付日時：月～金曜日 9時～17時（土日祝日、年末年始はお休み）

TEL：03-6863-7830（なやみゼロ）／FAX：03-3981-2946

E-mail：siensitu@a.toshima.ne.jp

地域の活動

豊島区で行われている地域の活動をご紹介します。

今回は、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)が立ち上げに協力した2つの地域活動をご紹介します。「地域のために何かしてみたい」「場所を使ってもいいよ」など、是非CSWへお声かけください！

共生社会課CSW担当 TEL:03-3981-4392

働く精神障がい者の交流の場 結(ゆい)のカフェ おりがみ

主催者の方からCSWに「働く精神障がい者が仕事で悩んだ時に気持ちを共有して、お互いにサポートができる場を作りたい」と相談がありました。コーヒーなどを飲みながら気軽に話ができる場所がないかということで、CSWから、特定非営利活動法人NPOあおぞらが運営する長崎4丁目の「BBカフェ」に協力してもらえないかどうか相談をしました。BBカフェからも「ぜひ一緒にやりましょう」と快諾していただき、その後三者で話し合いを重ね、数回イベントを開催することができました。



カフェの名前にある「おりがみ」は、主催者の方の特技です。また、それだけでなく「来てくださった方やスタッフ同士、世の中に日本の伝統文化の折り紙のような優しさや温かさを届けたい」という想いも込められています。働く精神障がい者の交流として開催されるカフェですが、地域住民の方も参加できる、地域に開かれたカジュアルな居場所になることを目指して活動を続けています。



みんなで楽しく、健康に! わくわくモルックの会

池袋本町の「わくわくモルックの会」は、地域の人たちが集まれる場づくりについて、住民の方や社協職員、高齢者総合相談センター等の関係機関などが話し合いをする中で、「所有しているビルを活用できないか」という住民の声から始まりました。

現在は、月に1、2回、金曜日午後開催されており、ビル1階の駐車場で白熱したモルックを楽しんだ後に、2階で茶話会が行われています。



遠くから、モルックを投げます



モルック(左)とスキttl(右)

参加者の感想

- モルックは適度に楽しく、難しい。
- 交代しながら休みながら参加でき、高齢者にも無理がない。
- ひとり暮らしの自分には、モルックの後の茶話会も楽しみ。

モルックとは・

フィンランド発祥のスポーツで、「モルック」といわれる木の棒を投げ、地面に立てた「スキttl」という複数の木のピンを倒して獲得した点数を競います。

脳トレになる、適度な運動量で高齢者でも楽しめるなどの理由から、区民ひろばや介護施設の活動でも取り入れられています。

区民ミーティング開催！

令和5年度第1回区民ミーティングを、6月～7月にかけて区内8カ所で開催しました。区民ミーティングは、住民の皆さんが地域の課題を共有して、解決に向けてともに考える場です。

コロナ禍により人と人との「つながり」がますます希薄化し、孤独・孤立の問題が社会問題となっています。昨年豊島区が実施した意識・意向調査からも、近所付き合いの希薄化や地域活動への興味・関心の低下がみられました。

地域で手助けを求める方に必要な支援が届き、その人らしく生活していくためには、住民同士のつながりや支え合いの持つ力がこれからも必要になります。



そこで、今回の区民ミーティングでは「みんなで話そう地域のこと、これからのこと」をテーマに、地域にどのような課題があり、解決に向けてどのような取り組みが必要か等、集まった皆さんで意見交換を行いました。参加者同士がお互いの考えや取り組みを共有しながら、つながりが生まれる場にもなりました。



参加者の声

参加者延人数 218名

地域の課題や不足していると思うこと

相談先が分かりづらい、どこに相談していいか分からない

社会参加の機会が不足している

必要な情報が伝わっていない

外国籍の子どもへの支援が不足している

どのような取り組みがあるといいか

空き家を活用した取り組み

話し合いの場を増やし、情報を常に共有していく

世代を超えたつながりづくり

活動者同士でネットワークをつくりノウハウを共有する

これから取り組みたいこと

食事を交えた地域活動

若年層の地域活動への参加促進

若者の隙間時間を利用したボランティア活動

魅力ある楽しいサロン（場）の運営

ご寄附をありがとうございます

2023年3月1日～7月31日

寄附金 合計額 40,487,852円

ご寄附をいただいた皆様（敬称略）

クラフトマスクプロジェクトクリエイターズ

池袋本町末廣町会

豊島区高齢者クラブ連合会

おとなの体操（区民ひろば池袋サークル）

株式会社ハクビ 和紙ちぎり絵学院

佐藤 静

秋森 孝夫

たちばな会一同

東京都池袋西ロータリークラブ

ビストロ和お客様一同

豊島区グラウンド・ゴルフ協会

熊井 笑美子

株式会社ベルレイ

匿名 3件

物品による寄附

ご寄附をいただいた皆様（敬称略）

芥川製菓株式会社

台湾の姉 玉 仙妃

目白遊技場組合

アンサンブルぶどうの木&えごの木

代表 加瀬 淳子

理容ナカムラ 中村 照子

熊井 笑美子

石田

匿名 5件

寄附に関する問合せ

豊島区民社会福祉協議会 総務課

TEL: 03-3981-2930



御篤志に心より感謝いたします

ふくしい・ふくみん ほのぼの日記



編集後記

今年の夏は多発する猛暑日・集中豪雨や長びく台風による災害など、気候変動による脅威を感じました。これから予測不能な危機に直面することがあるかもしれません。

私たちは、その時にできることで対処していくしかありませんが、心を支え合う人と人とのつながりは一層大切になるでしょう。

今号では社会福祉協議会の重点取組事業の報告をいたしました。また、地域の中でつながりが生まれる場の紹介をしています。

（柳澤 敬子）

広報委員

松田 和江（長崎第二地区）

西森すみ子（巣鴨地区）

三輪 緑（池袋東地区）

戸澤 佳子（池袋西地区）

瀧本麻起子（高田地区）

杉本みち子（長崎第一地区）

柳澤 敬子（長崎第二地区）

田中 慎吾（社協）

発行

2023年9月

社会福祉法人

豊島区民社会福祉協議会

豊島区東池袋1-39-2

豊島区役所 東池袋分庁舎3,4階

☎03-3981-2930

デザイン・印刷：(株)美巧社